

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
サイバー・キャンパス・コンソーシアム  
平成24年度 第1回統計学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時 平成24年6月21日(木) 16:00~18:00  
場所 私立大学情報教育協会事務局

II. 出席者 中西、渡辺、各委員、今泉、高橋アドバイザー(事務局 井端、森下、平田)

### III. 検討事項

今回は統計学教育における教育改善モデルを実現するための教育力のうち、統計学教員に期待される専門性について以下のとおり検討した。

まず、事務局より教育力をまとめるに至った背景、方針について以下の通り説明した。統計学分野の教育改善モデルをより説得力のあるものとするため、教育の改善以外に教員自身の努力についてどのように行っていくべきかについても検討することにしており、統計学分野の教員の教育力として、「統計学教員に期待される学識」と「教育改善モデル実現に求められる教育力」の2つについて文章化することとしている。統計学教員に期待される学識については、一般に統計学教員に求められる教育力と位置づける。

次に、他分野でまとめた教育力を参考にしながら、統計学教員に期待される専門性について検討した。

#### 1. 統計学教員に期待される専門性について

統計が社会に及ぼす影響が大きいため、統計が果たす役割について強い使命観と倫理観を持っていること、また、統計を活用することで他分野で新たな価値を生み出すことが可能となることを踏まえて、学生が将来どの分野に進んでも統計を活用した問題解決能力を発揮できるよう教育することがとりわけ統計分野では重要であることを確認し、以下の通りまとめた。

##### 【1】 統計学教員に期待される専門性

- ① 統計が社会に果たす意義・役割に対して強い使命観と倫理観を持ち、社会的な貢献ができる専門家であること。
- ② 様々な分野の不確実性を伴う現象を統計の視点から科学的に捉え、活用できること。
- ③ 他分野の教員間、大学間、社会と連携し、創造的な活動に取り組むことができること。
- ④ 社会現象と統計との関わりに興味・関心を抱かせ、主体的に取り組ませることができること。
- ⑤ ICTなどの教育技法を駆使して、課題発見・問題解決型の学修指導ができること。

#### 2. 次回委員会

次回は、8月8日(水) 10:00より開催し、2つ目の教育力「統計学の授業改善モデルを実現するための教育力」について検討することを確認した。